

令和５年度 第３回加賀市健康福祉審議会 障害者分科会会議録（発言要旨）

※発言内容については、発言趣旨を損なわない程度に変更・修正している箇所があります。

□と き 令和６年２月１９日（木曜日）午後７時３０分～午後９時００分

□ところ 加賀市役所 別館３階３０２・３０３会議室

□出席者 長谷川委員、西野委員、舞谷委員、南野委員、木戸口委員、大家委員、樫尾委員、
谷井委員、永山委員、上野委員、安田委員、岩尾委員、酢谷委員、富田委員、宮北委員、
篠原委員

（欠席者）中谷委員、佐久間委員

□事務局 （市民健康部）奥村部長

（介護福祉課）篠田課長、金森企画官、西島リーダー、村中主査、東主事

（相談支援課）西課長（地域包括支援センター）東出所長、岡田リーダー

（子育て応援ステーション）北口所長

次 第 開 会（午後７時３０分）

部長挨拶

議 事

（１）第２回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会の質問について

資料１

（２）第７期加賀市障がい者計画・障がい福祉計画・

第３期加賀市障がい児福祉計画（案）について

資料２

（３）加賀市手話施策推進方針（案）について

資料３

（４）今後の予定について

資料４

閉 会

議事要旨

奥村市民健康部長挨拶

市では、能登半島地震の被災者の受け入れを全庁をあげて行ってきており、現在も１８００人余りが市内旅館に、旅館以外にも約５０名の障がいのある方が市内の施設に避難している。医療・福祉・保険をはじめ多くの皆様に、被災された方々へのご支援・ご協力いただいております、お礼を申し上げます。

今回は、前回を書面開催としたため、いただいた意見への回答と、計画案等を審議する。審議後、２月２９日に市長に答申し、３月５日から１８日までのパブリックコメントを経て策定の手続きを進めていく予定としている。本日の会議が今年度最後、現委員の任期中最後の会議である。長期に渡りたくさんのご意見を頂戴し、ご審議いただいたことにあらためてお礼申し上げます。

議事（１） 第２回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会の質問について 資料１を説明

議事（１）に関する事前質問について説明

「No.1 No.1 アンケートの調査対象」

「No.2 加賀市内の被害状況について」

当日配布資料の回答のとおり

質疑応答

(谷井委員)

今回の事前質問に関して、前回と同じ内容の質問をした。その回答が前回もらった内容そのままである。本当に実態に即した形で理解しているか、どうしていくかが全く示されていない。

「見守り支えあいネットワーク」未登録の障がいのある方に、いざという時に本当に避難支援ができるのか。自力で避難できるという実態を掴んでいるのか。各地区での避難訓練は本当になされているのか。就労に関しても、雇用率を上げるために市としてどうしていくのか。具体的なことが全く示されていない。相談支援についても、具体的な数値を示してほしい。

本当に実態を掴んでいるのか。回答が具体的でないから、あえて同じ質問をしている。

(事務局)

「見守り支えあいネットワーク」については資料1の回答の通り。今回の地震ではじめて、全市的に名簿を活用して民生委員等に安否確認を行ってもらった。今後意見を集め改善していく必要があると考えている。全容の把握はなかなか難しいが、普段から民生委員等に心配な方等がいる場合は干渉いただき、必要な方には活用してもらうようにしている。

就労については、現在も法定雇用率に未達であることから率が上がっていくとなかなか難しい。企業側・障がい者側で歩み寄りをお願いしていかなければならないと考えている。南加賀で各種団体の協力を得ながら進めている現状である。既に多くの助成金が出ているので、周知を図りながら企業に歩み寄りをお願いしていく形になると思っている。

相談支援に関する35件/月・配置については、給付に係る計画を作成する相談の件数と認識しており、そう多くはない。相談支援事業所間で協定を結び、より高い報酬をとっていただくという形で協力をいただき、質の担保を図っている。

休憩

議事(2) 第7期加賀市障がい者計画・障がい福祉計画・第3期加賀市障がい児福祉計画(案)について 資料2を説明

議事(2)に関する事前質問について説明

「No.3 第2部第2章1(2)③防災・防犯対策の推進
No.1 地域見守り支えあいネットワーク事業」

「No.4 第2部第2章1(2)③防災・防犯対策の推進
No.1 地域見守り支えあいネットワーク事業」

「No.5 第2部第2章1(2)③防災・防犯対策の推進
No.2 福祉避難所の円滑な設置・運営」

「No.6 第2部第2章2(1)障がいのある子どもの育成・教育」

「No.7 第2部第2章2(2)障がい者雇用・就労」

「No.8 第2部第3章1(1)障がい福祉施設入所者の地域移行について」

「No.9 第2部第3章2(4)相談支援」

当日配布資料の回答のとおり

檜尾委員より提言

「No.4 第2部第2章1(2)③防災・防犯対策の推進

No.1 地域見守り支えあいネットワーク事業 【檜尾委員 0.01】【檜尾委員 0.02】」

「No.5 第2部第2章1(2)③防災・防犯対策の推進

No.2 福祉避難所の円滑な設置・運営 【檜尾委員 0.03】」

(檜尾委員)

視覚障害者協会、身体障害者福祉協会、各団体において自助・共助に関する防災マニュアルを、また今回の計画にあわせて市としての公助の防災マニュアルを早急に作成し、各マニュアルを突き合わせ、加賀市のインクルーシブ避難として具体化していく必要がある。

また、市内に66施設あるとされている福祉避難所について、能登半島地震をみると実際に避難者を受け入れる際には混乱もある。訓練を行うなど、実態を確かめる必要がある。

(事務局)

行政としても、今回のような災害への対応については今後検討していかなければならない課題だと思っている。ご協力いただければありがたい。

大規模な災害では福祉避難所自体が被災する場合もある。その時は市内に限らず広域での支援も必要になってくるので、検討課題としたい。

質疑応答 特になし

議事(3) 加賀市手話施策推進方針(案)について **資料3**を説明

質疑応答 特になし

議事(4) 今後の予定について **資料4**を説明

質疑応答 特になし

全体を通しての意見・質疑応答

檜尾委員より提言

「No.10 その他 【檜尾委員 0.04】【檜尾委員 0.05】」

当日配布資料の回答のとおり

(檜尾委員)

3年間を通しての総括として二点ある。まず一点目として、資料のイラストなどにテキストの注釈がなく、合理的配慮が足りないと感じた。今は立体コピー機などで紙に浮き上がらせて印刷しそれを触って理解するようなものもあるので、今後検討していただきたい。

二点目は、アンケート調査の集計を外部委託としているが、それで今回の計画に反映するのか。個人情報保護の観点からも、なぜ市で作業しなかったのか疑問である。個人的にはこのま

ま計画が策定されるのはいかがなものかと思う。

(事務局)

資料の作成において配慮が足りなかった点については申し訳なく思っている。今後そのようなことがないように努めていく。

アンケート調査では郵送・集計を委託したが、個人情報についてはきちんとした契約を結んでいるので問題はないと思っている。単純な集計のみの委託であり、内容に関してはこちらで分析し計画へ反映させていく。

(会長)

第7期計画案の市長答申が2月29日に予定されているが、本日の会議の結果で、第7期計画案の修正が必要な部分は軽微であると思うので、答申までの修正は事務局へ任せ、障害者分科会としては第7期計画案を承認することとしてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

異議なしということで承認されたこととする。

閉 会（午後9時00分）